

シラバス

科目名	イベントプロデュース		担当者名	本多 功一	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	エンタテインメント業界における業種の理解を進め、現場の業務に支障なく遂行できることが科目としての目的である。イベントを企画して実施するまでどのような手配で進めていくのか、それに付随した安全第一からの視点、利益を生み出すビジネスとしての視点、権利の重要や送り手としての視座を獲得していく				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業種の理解、業種間での業務、権利の基礎、各種メディアの機能、イベント制作の流れ、代表的な法人の理解をした上で、現場に出て困らない情報を身に付ける。				
授業概要	エンタテインメントの中でも音楽分野に比重を置き、コンサート制作の基本から、手続き、依頼、発注、実施まで、企画からの流れを時系列で理解する。また権利ビジネスであることから、関連法規や権利の理解を図る。あらゆるイベントに対応できる情報を身に付ける。セルフプロデュースとしてのアイデンティティの構築を目指し、多様な思考を獲得できるようにしていく。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	科目の概要説明、エンタメ業界で特に意識しておくべきこと、特徴、権利の概要について	19	コンサート予算について	
	2	業種の解説と関連するつながりについて、相関図を基にして理解する	20	宣伝・宣材・マーケティングの基礎	
	3	企画とはなにか、アイデアを生み出す方法	21	消費者行動と行動心理学、プロモーション	
	4	企画から実施までの流れを一年間のスパンでどのような業種が関わるかを理解する	22	文章で相手に伝える プレゼンと書面の基礎	
	5	コンサート予算について、具体的な金額から、売上と経費、利益について理解する	23	コンサートの種類・会場からの分類	
	6	目的とはなにか、エンタメ業界での企画を書面から読み取る	24	コンサートの目的・形態からの分類	
	7	メディアとはなにか、業務に関わるメディアについて理解する	25	広告代理店の仕事とイベント	
	8	Webメディアと地上波の融合について、放送法についても一定の理解をしておく	26	著作権の基礎1 著作権とはなにか	
	9	デザインの基本として、雑誌や映像でのコンテを使い、伝えることの訴求について理解する	27	著作権の基礎2 原盤と出版権、宣伝に関わる権利	
	10	楽器と機材の基本	28	著作権の基礎3 映像、ライブに関わる権利	
	11	ライブイベントでの楽器・機材を歴史で振り返る	29	映像の基礎 MV、VP、PV 映像業務の理解	
	12	アイデンティティと音楽	30	伝達課題 クラス内でのプロモーション(グループまたは個人)	
	13	安全第一のイベント制作	31	ホール機構 ホールの機構と音響設計の仕組み	
	14	メディアで規制する言葉とその理由	32	ホールとライブハウス、コンベンションホールについて	
	15	メディアの効果と怖さ	33	予算組みをしてみる	
	16	ライブ関係書類について	34	ビジネスの基本 売上－経費＝利益 簿記の基礎	
	17	構成譜を作る、裏方の書類	35	コンサート関連職種のみまとめ	
	18	表方、裏方の業種と職種	36	あると便利なスキルを業種ごとにまとめ	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上、 S 90～100点、A 80～89点、 B 79～70点、C 60～69点、 D 59点以下(不可)	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	各種イベントの企画制作、舞台監督				

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	山本 あいり、井野 加織	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	ゼミ	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	イベント企画を中心にコミュニケーションやスケジュール管理などを体感し、授業の中でPDCAを学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベント業界で通用する為のプレゼンテーション資料、打ち合わせ書類の作成をする中でグループワークの難しさを学び人間力を発達させる				
授業概要	イベント毎にPDCAサイクルを実施し、個人ならびに集団でのデータ分析を座学形式で行う				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介・挨拶・ゼミとは？	19	後期ゼミ テーマ・目標・目的設定	
	2	プレストについて(手法の紹介・実践)	20	企画立案のためのフィールドワーク①	
	3	プレストについて(テーマをもとに)	21	企画立案のためのフィールドワーク②	
	4	企画の作り方(ケーススタディ)	22	企画会議①	
	5	企画会議①	23	企画会議②	
	6	企画会議②	24	企画提案①・ブラッシュアップ	
	7	企画書の作り方 基本編	25	企画提案②	
	8	企画書の作り方 応用編	26	企業に提案するには？	
	9	企画書 提出	27	イベント告知方法について	
	10	企画発表 講評	28	イベント集客方法について	
	11	チームごとに企画再案①	29	イベント最終準備	
	12	チームごとに企画再案②	30	イベントリハーサル	
	13	プレゼンテーション方法①	31	イベント本番	
	14	プレゼンテーション方法②	32	イベント振り返り	
	15	企画を提案するには？	33	最終報告会準備	
	16	中間発表に向けて	34	最終報告会	
	17	中間発表	35	最終報告会振り返り	
	18	前期講評	36	1年間の総評	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	イベント制作会社を経て現在フリーランスでアーティストのライブツアーからIT企業のセミナー、展示会の運営等幅広いジャンルのイベント企画・制作を行う。				

シラバス

科目名	PA・照明実習A		担当者名	浜田 勇太、芝川 裕哉	
学科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位	6単位	開講期		授業時間数	216時間
開講学年	1学年	必・選	必修		
授業目的	PAの基礎を学び、機器の取り扱い、舞台での立ち振る舞い、音響的感覚を養う 照明の基礎的な機器の取り扱い、色彩感覚を養う ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	企画、制作、出演等全てを自分達の手で本番を行い、公演を成功させる 様々なイベントに対応できる知識と技術を習得し、自分たちの手で本番を行い公演を成功させる				
授業概要	実際の現場を想定し、実践的な技術習得を実習形式で行う				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	基礎舞台について スモーク/SSについて 仕込み	
	2	オリエンテーション②	20	PA実践③_A(3WaySystem) 卓の説明・操作/フロント/シーリングについて・仕込み	
	3	オリエンテーション③	21	PA実践③_B(3WaySystem) 仮設電源について・仕込み	
	4	実習上の注意、前期・後期発表日取り	22	PA実践③_C(3WaySystem) イントレ仕込み	
	5	PA基礎①_A(BoseSystem) 灯体の吊り方、回路、色、SUS・ボタンについて	23	PA実践④_A(MonitorMix) 星球/ストロボについて 仕込み	
	6	PA基礎①_B(BoseSystem) 灯体の種類(PARライト) 仕込み	24	PA実践④_B(MonitorMix) PINについて 仕込み	
	7	PA基礎②_A(BoseSystem実践) 灯体の種類(凸・フレネル) 仕込み	25	PA実践④_C(MonitorMix) Footについて 仕込み	
	8	PA基礎②_B(BoseSystem実践) 灯体の種類(ITO) 仕込み	26	PA実践⑤_A(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(バラード)	
	9	PA実践①_A(2WaySystem) 灯体の種類(ソースフォー) 仕込み	27	PA実践⑤_B(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(アップテンポ)	
	10	PA実践①_B(2WaySystem) 灯体の種類(ミニブル) 仕込み	28	PA実践⑤_C(Band Mix) フル仕込み 明かり作り(芝居)	
	11	PA実践①_C(2WaySystem) 灯体の種類(LH・UHL) 仕込み	29	後期発表_RH1	
	12	PA実践②_A(Band Mix) 灯体の種類(ミラーボール) 仕込み	30	後期発表_RH2	
	13	PA実践②_B(Band Mix) セクション毎に仕込み①(RH/本番の流れについて)	31	後期発表_GP	
	14	PA実践②_C(Band Mix) セクション毎に仕込む②(RH/本番の流れについて)	32	後期発表	
	15	前期発表_RH1	33	後期反省会	
	16	前期発表_RH2	34	まとめ①	
	17	前期発表	35	まとめ②	
18	前期の反省、後期発表に向けて	36	まとめ③		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	60%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	本校卒業生 2002年有限会社湘南音響入社、以後コンサート、イベントでのPA業務に従事 照明オペレーター、プランナー、プロジェクションマッピングオペレーターとして、数多くのライブ/コンサートを経験、国内、海外共にイベントの照明技術者として幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している。				

シラバス

科目名	演出概論		担当者名	中井川 孝之、月岡 靖智、岩元 真樹、長谷川 浩司、村野 浩一	
学科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	3単位	開講期		授業時間数	54時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	イベント業界で働く上での業務の理解、スケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人としての成長を目的とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベントで使用する各種資料、アイテムなどの理解を深め、実習、実技などで具体的に授業目標を定める				
授業概要	現場で必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	「譜割り」作成	
	2	オリエンテーション②	20	「ローディー(楽器)」の業務内容説明	
	3	オリエンテーション③	21	実際の楽器を使つてのローディー実践	
	4	イベントにおけるスタッフの存在意義	22	シーケンスを使った同期演奏のメカニズム	
	5	イベントに関わるセクションの役割	23	学祭に向けての役割、セクションの意思確認	
	6	制作業務の講義・シミュレーション	24	学祭の反省会	
	7	シミュレーションを取り上げての予算案説明	25	ステージにおける「特殊効果」について	
	8	まとめ①	26	「特殊効果」実践	
	9	舞台監督の業務及び他スタッフとの関係性	27	クリスマスイベント企画会議、叩き台本作成	
	10	舞台用語、舞台機構などの基礎知識の講義	28	クリスマスイベント最終台本打ち合わせ	
	11	舞台美術の説明、デザイナーの存在意義	29	クリスマスイベント反省会	
	12	「バミリ」の必要性や方法の説明	30	「譜割り」の復習とキッカケ	
	13	グループに分かれて「バミリ」の実践	31	コンサート映像を見て演出の抜き出し	
	14	まとめ②	32	2年生の卒業制作のための技術演習	
	15	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	33	1年間を通してのまとめ及びプロ意識の講義	
	16	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	34	まとめ①	
	17	現場に参加しての感想、意見交換	35	まとめ②	
18	「譜割り」の説明及び、必要性	36	まとめ③		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場で活躍している				

シラバス

科目名	ステージ・テクニク		担当者名	中井川 孝之、月岡 靖智、岩元 真樹、長谷川 浩司、村野 浩一	
学科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	3単位	開講期		授業時間数	54時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	イベント業界で働く上での業務の理解、スケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人としての成長を目的とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベントで使用する各種資料、アイテムなどの理解を深め、実習、実技などで具体的に授業目標を定める				
授業概要	現場で必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	「譜割り」の作成	
	2	オリエンテーション②	20	実際の楽器を使つてのローディー実践①	
	3	オリエンテーション③	21	実際の楽器を使つてのローディー実践②	
	4	ジャンル別に求められるスタッフの違い	22	シーケンスを使った同期演奏の実践	
	5	イベントに関わる全セクションの業務内容	23	学祭に向けての現場テクニクの復習	
	6	制作業務の講義、シミュレーション	24	学祭の反省会	
	7	シミュレーションを取り上げての予算案説明	25	「特殊効果」の種類と消防法	
	8	まとめ①	26	「特殊効果」の実践	
	9	スケジュールの作成方法	27	クリスマスイベント 全セクション合同打ち合わせ	
	10	舞台上で使用する道具や、寸法の説明	28	クリスマスイベント 最終技術打ち合わせ	
	11	図面の見方及び、作成方法	29	クリスマスイベント 反省会	
	12	グループに分かれて「バミ」の実践	30	演出で求められる「キッカケ」	
	13	イントレ&平台等、基礎舞台作成方法	31	コンサート映像を見ての進行表の作り方	
	14	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	32	2年生の卒業制作のための技術予習	
	15	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	33	1年間を通してのまとめ及びプロ意識の講義	
	16	まとめ②	34	まとめ①	
	17	スタッフとしての方向性議論	35	まとめ②	
18	「譜割り」の作成方法	36	まとめ③		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場で活躍している				

シラバス

科目名	コンピュータ I		担当者名	鎌倉 規匠	
学科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	学科及び卒業後も必要とされる事務及び制作に欠かせない作業を踏まえての基本操作の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	PCで書面作成も楽になる				
授業概要	"座学が基本。教科書に沿って説明し、その他必要な操作は課題等で補いながらPCに於ける基本操作を習得する。"				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	パワーポイント動画作成・発表①	
	2	オリエンテーション②	20	パワーポイント動画発表②	
	3	オリエンテーション③	21	パワーポイント動画発表③	
	4	講義概要・予定説明、キーボード操作	22	パワーポイント動画発表④	
	5	ブラインドタッチ・タイピング・Word基本操作・保存	23	パワーポイント動画発表⑤ まとめ	
	6	文字入力と和文・英文・基本的なショートカットキーの利用	24	Excelの概要・基本操作①文字・数値入力	
	7	特殊文字・フォントについて・ページレイアウト	25	基本操作②オートフィルブックとシート	
	8	ビジネス文書の形式・マナー、記以上文・時節・あいさつ文	26	表の作成入力・関数	
	9	ビジネス文書制作 表の挿入・削除・結合その他、装飾	27	関数①	
	10	区切り・セクション区切りの利用・縦書き・テキストボックス利用	28	関数②	
	11	ワードアート・図形の挿入・ドロップキャップの利用	29	フィルター・RANK・検索・置換	
	12	チラシ制作課題	30	行・列の挿入・削除表示非表示	
	13	復習課題	31	表データを利用したグラフ作成・グラフ概要説明・データの追加	
	14	パワーポイント概要説明・スライド制作・テーマ	32	グラフ要素の追加・レイアウト・グラフ・スタイルの変更・移動。スパークライン	
	15	ワードアート・画像・音楽挿入	33	復習課題	
	16	アニメーション・画像切り替え	34	まとめ①	
	17	スライドショーとは？ヘッダーフッター・リハーサル・保存方法	35	まとめ②	
	18	パワーポイント動画作成	36	まとめ③	
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	成績は、課題、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	海外音楽大学卒業 プロのミュージシャンの傍らコンピューター技術をイベント観点から学び幅広く仕事として活用。その経験を活かし工学院・テクノスにて複数学科で授業を持っている。マルチに活躍する講師 若戸大橋宣伝大使も務めている。				

シラバス

科目名	コミュニケーション英会話 I		担当者名	Jina McCullough	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	This class is about using English in the entertainment industry. This class aims to improve the English language skills of students in the concert event class. このクラスは、エンターテインメント業界での英語の使用についてです。このクラスは、コンサートイベントクラスの学生の英語力を向上させることを目的としています。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to describe what part of the entertainment industry they enjoy the most. Students will also be able to describe in English the tasks they perform in class for concert events. Students also increase their exposure to various forms of media from America. 生徒は、エンターテインメント業界で最も楽しんでいる部分について説明できるようになります。学生はまた、コンサートイベントのクラス内で行う作業を英語で説明できるようになります。学生はまた、アメリカからのさまざまな形式のメディアも増やします。				
授業概要	Various forms of media have become the focal point of our society. Being able to recognize certain things in the entertainment industry is important. This class encourages students to explore a variety of media from America and other English-speaking countries. さまざまな形式のメディアが、私たちの社会の焦点になっています。エンターテインメント業界で特定のことを認識できることが重要です。このクラスでは、学生がアメリカや他の英語圏の国からのさまざまなメディアを探求することを奨励します。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	Elements of Theater: Musicals, Plays & More	
	2	オリエンテーション	20	History of Broadway	
	3	Music genres and their elements	21	Shakespeare to now	
	4	History of R&B: BET & Soultrain	22	Influential People in Theater	
	5	Famous R&B figures: Singers and producers	23	History of the EGOT	
	6	Evolution to Pop: Rap and R&B influence in Pop	24	Accult Classics in Theater	
	7	Current top artists in Pop	25	Theatrical Adaptations of Film	
	8	Pop in other cultures: Europe, Korea and Japan	26	Theater Show & Tell	
	9	Music Show & Tell	27	Takarazuka	
	10	Movies: Genres and their elements	28	Kabuki: History and elements	
	11	Directors and their famous films	29	Traditional Japanese Entertainment	
	12	Accult classic films	30	Music and Dance from other Countries: Traditional	
	13	Advertisements	31	Music and Dance from other Countries: Modern	
	14	TV Shows in America and Japan	32	Manga vs Comic	
	15	Classic troupes in TV	33	English in Anime	
	16	Horror: Japan vs America	34	Anime vs Cartoon	
	17	Comedy: Japan vs America	35	English and Japanese Voice Acting	
	18	Movie Show & Tell	36	Anime/Manga Show & Tell	
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されま	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.				

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	山本 あいり、土方 恵美	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必修		
授業目的	社会のルールや社会人としての心構え、マナーを学び実践力を身に着ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としての知識・マナーを習得し、就職活動ならびにその先の人生に役立つ授業が目標				
授業概要	社会人としてのルールや学校生活を送るなかでのルールを座学方式で学ぶ				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	就職ガイダンス①	
	2	オリエンテーション②	20	就職ガイダンス②	
	3	オリエンテーション③	21	就職ガイダンス③	
	4	一般常識テスト①	22	就職ガイダンス④	
	5	敬語の使い方	23	一般常識テスト⑥	
	6	一般常識テスト②	24	履歴書の書き方①	
	7	メールの書き方	25	履歴書の書き方②	
	8	電話の掛け方	26	一般常識テスト⑦	
	9	一般常識テスト③	27	履歴書の書き方③	
	10	組織で必要なルールとマナー	28	履歴書の書き方④	
	11	一般常識テスト④	29	一般常識テスト⑧	
	12	チームで働くとは	30	次年度に向けて 先輩としての心構え	
	13	一般常識テスト⑤	31	次年度に向けて 後輩とのチーム作り	
	14	チームワークを養う①	32	校内企業説明会	
	15	チームワークを養う②	33	総評	
	16	コンサート業界における就職活動①	34	まとめ①	
	17	コンサート業界における就職活動②	35	まとめ②	
	18	総合テスト	36	まとめ③	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート		成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	音響技師、舞台俳優として、数多くのライブ／コンサートを経験、幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している。				

シラバス

科目名	照明技術 I		担当者名	柳戸 勲、石毛 昌友	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	舞台スタッフとしての心構え、知識、人間性、総合力の確立を目指す。また舞台照明における基礎的な知識を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業界・ステージ・スタジオ・イベント等における照明の理論、基礎知識を学び、照明に対する興味を深め自覚を促進する。				
授業概要	「学び」「考え」「行動」を最下のテーマとしてとらえ、照明における知識、技術、応用、構成員力、デザイン等を学びチームワークの必要性を理解し習得する				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介・照明とは・光の作用・光の三原色	19	方向の明かり	
	2	劇場機材の吊りもの、照明	20	デザインの考え方	
	3	灯体の構造、アクセサリ、種類	21	カラーフィルター・FOHについて	
	4	回路・コンモ・ケーブル・コネクタについて	22	役割について(デザイナーとオペレーター)	
	5	長さの単位、平台、タッパ、間口	23	映像照明とは①	
	6	フロア周り、サスペンション、ホールの設備	24	映像照明とは②	
	7	照明光学・逆二乗の法則	25	機材の種類と説明①	
	8	電気工学・仮設について	26	機材の種類と説明②	
	9	安全の基本について	27	撮影方法①	
	10	事故防止について	28	撮影方法②	
	11	舞台照明の心構えについて	29	撮影方法③	
	12	ホールスタッフ・カンパニースタッフ	30	ロケと言われる外での撮影方法①	
	13	コンサート照明と演劇照明	31	ロケと言われる外での撮影方法②	
	14	用語解説①	32	ロケと言われる外での撮影方法③	
	15	用語解説②	33	室内での撮影方法①	
	16	エフェクトと特殊効果について	34	室内での撮影方法②	
	17	試験について傾向と対策	35	まとめ	
	18	講評	36	まとめ	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 100~90点 A 89~80点 B 79~70点 C 69~60点 D 59点以下(不可)	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	舞台を中心(パレエ・オペラ・芝居・語り・シャンソン等)の照明デザイン・技術操作を担当。経験を基に広くスタッフの養成への授業を展開する。 映像を中心に照明オペレーターを務める。				

シラバス

科目名	音響技術 I		担当者名	櫛田 博、岩下 保広、米倉 良春	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	技術的な基礎知識を身につける。／論理的な思考力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ハードウェア: アナログ電気音響の基礎から、音響機材の種類と使用目的を理解する。□ ソフトウェア: 現場においてのスタッフとしての責任や、音響マンとしての役割を理解する。□				
授業概要	前半は、音響の仕事の内容や職種・ポジションなどのソフト的な説明から、電気・電子の基礎を学ぶ。□ 後半は、マイクロフォンからスピーカーまでの各機材の種類や機能・使用目的を理解する。□ また、楽器の発音の仕組み・音の性質・聞こえる仕組み・心理効果等を説明する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	PAの世界	19	インプット 1 (マイクロフォンの分類/動作原理/指向性)	
	2	音響に必要な算数・数学 (四則演算の順序/分数/指数/対数)	20	インプット 2 (ピックアップ/D.I./マイク・マルチケーブル/スタンド)	
	3	舞台・音響の略号・略名と仕込図 (音響機材の略号・略名/楽器の略名/ハンドサイン)	21	アナログミキサー 1 (インプット モジュール)	
	4	電気の基礎 1 (電圧/電流/回路)	22	アナログミキサー 2 (バス/アウトプットモジュール/マトリックス)	
	5	電気の基礎 2 (負荷/電力/商用電源)	23	周辺機器 1 (イコライザ/空間系エフェクタ)	
	6	電子の基礎 1 (抵抗/コンデンサ/コイル/トランス)	24	周辺機器 2 (ダイナミックス系エフェクタ/再生機器)	
	7	電子の基礎 2 (インピーダンス/dB)	25	アウトプット 1 (DSP/パワーアンプ/スピーカーケーブル)	
	8	電子の基礎 3 (増幅/フィルター/平衡伝送)	26	アウトプット 2 (ユニット動作原理/エンクロージャ)	
	9	音とは? (振動/疎密波/音波/音/音の三要素)	27	アウトプット 3 (ルームアコースティック)	
	10	音の性質 (進行波/定在波/干渉/屈折)	28	デジタルオーディオの基礎 1 (PCM変換/DSD変換/ADC・DAC)	
	11	聞こえる仕組み (物理現象→生理現象→心理現象)	29	デジタルオーディオの基礎 2 (パケット/圧縮/MIDI)	
	12	音の心理学 (音の大小と対数/音圧/等ラウドネス)	30	デジタルオーディオの基礎 3 (デジタル伝送)	
	13	音の心理効果 (耳が二つ/ステレオフォニック~イマーシブ)	31	PAプランニング (情報と資料)	
	14	ケーブルの知識 (目的別分類と構造)	32	リクエスト講義 1 (予備: 音響に関する法規と検定・資格)	
	15	音響電源 (商用電源/受電方式/ノイズ/アース)	33	リクエスト講義 2 (予備: 現場での事故事例、安全対策)	
	16	前期まとめ	34	後期まとめ	
	17	前期末試験	35	後期末試験	
18	前期末試験 解答と解説	36	後期末試験 解答と解説		
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	音響技術者として40年以上のキャリアを持ち、現在も音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍する。近年ではコロナ禍の対応として、音楽配信やヴァーチャル配信の音声も担当。				

シラバス

科目名	制作実習		担当者名	山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	6単位	開 講 期		授 業 時 間 数	108時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	イベント企画を通じて コミュニケーション能力、行動力、柔軟な発想力を養う				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人で企画立案できる人材育成				
授業概要	各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画立案・プレゼンを座学形式 ならびにグループワークで行う				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	AtoZを使用したイベント企画①	
	2	オリエンテーション②	20	AtoZを使用したイベント企画②	
	3	オリエンテーション③	21	AtoZを使用したイベント企画③	
	4	イベントスケジュール確認	22	AtoZを使用したイベント企画④	
	5	話し合いの進め方について	23	AtoZを使用したイベント企画⑤	
	6	学内イベント企画(特殊効果中心に立案)①	24	学内向けクリスマスパーティー企画立案①	
	7	学内イベント企画(特殊効果中心に立案)②	25	学内向けクリスマスパーティー企画立案②	
	8	学内イベント企画(準備期間)①	26	学内向けクリスマスパーティー企画立案③	
	9	学内イベント企画リハーサル②	27	学内向けクリスマスパーティー(リハーサル)①	
	10	学内イベント企画 本番	28	学内向けクリスマスパーティー(GP)②	
	11	学内イベント企画を振り返って	29	学内向けクリスマスパーティー本番	
	12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画書作成①	30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って	
	13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画書作成②	31	TECHNOS展学科企画①	
	14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画打ち合わせ③	32	TECHNOS展学科企画②	
	15	夏休みのスケジュール作成①	33	TECHNOS展学科企画③	
	16	夏休みのスケジュール作成②	34	まとめ①	
	17	前期まとめ①	35	まとめ②	
	18	前期まとめ②	36	年間総評	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	50%	成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	音響技師として、数多くのライブ/コンサートを経験、幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している				

シラバス

科目名	舞台技術		担当者名	渡邊 政美、金井 康幸	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	仕事として、現場に出た際困らないように基本的な知識をなるべく多く学生に伝えていく				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	仕事として現場に出る際、舞台技術で学んだ知識はすぐに役立つと考える。専門用語や特殊な場所の名前等ある中で戸惑いを少しでもなくし、実践につなげられる人材になるよう、様々な知識、経験上の話などを伝えていく。				
授業概要	舞台(イベント)に関わる仕事をするにあたり、大切で最も基本的な「挨拶をきちんとする」をはじめ、舞台用語、場所・機構の名前、それぞれの役割を理解する。舞台の世界では未だ使われている「尺貫法」を理解する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	試験対策	
	2	オリエンテーション②	20	試験	
	3	オリエンテーション③	21	試験講評	
	4	講師と学生の自己紹介、及び今後の舞台技術の授業に関して	22	ホール管理について	
	5	舞台用語、場所の名前、それぞれの役割、各注意点をプロ音響データブックを参考にし、powerpointを使い伝える	23	舞台に関する仕事について	
	6	同上(中割幕、大黒幕など)	24	山台の組み方(復習、基礎編1)	
	7	同上(舞台用語に関して)	25	山台の組み方(基礎編2)	
	8	同上(暗転幕、バトンなど)	26	山台の組み方(基本編3)	
	9	同上(アッパー・ホリゾンライトなどと、平面図に関して)	27	山台の組み方(応用編 迫)	
	10	同上(綱元、操作盤など)	28	山台の組み方(応用編 2枚重ね)	
	11	同上(迫、すのこなど)	29	山台の組み方(応用編 縦敷き、変形1)	
	12	同上(反響板、オーケストラピットなど)	30	山台の組み方(応用編 変形2)	
	13	同上(所作台、本花道など)	31	舞台での禁止行為に関して	
	14	同上(山台)、尺貫法、平台、箱馬に関して	32	操作盤周辺、ピアノの移動、搬入口に関して	
	15	高さのない山台の組み方	33	試験対策	
	16	高さのない山台の組み方	34	試験	
	17	舞台用語(常識幕、高座台など)	35	試験の講評	
18	舞台用語(シーリング、フロントなど)	36	まとめ		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	東京工学院音響芸術科卒業の後、株式会社岡田舞台にて、ホール管理及び技術者として勤務30年に至る。勤務した会館は5館目となり、ホールチーフとして15年以上の経験を持つ。				

シラバス

科目名	プレゼンテーション		担当者名	山本 あいり、廣瀬 充	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	文章表現を得て自身のイベントを表現できるようにする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	文章表現を得て自身のイベントを表現できるようにする				
授業概要					
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	より伝わりやすい文章を書く上での基本ルールの確認と把握が「ライティングスキル基礎」の根幹となる。授業内で執筆したノートは授業内	19	「プレゼンテーションに必要な、読み手を引き付ける言葉の傾向と使い方を学ぶ。	
	2	「正式表記で書くこと」「固有名詞の表記法、商品名の一般名詞化、略すべき名詞と略さない名刺の使い分け。」「文章の種類と使い分け」	20	「第十八回で課題とした原稿へのアドバイスと講義」	
	3	「漢字の閉じ・開き」「英単語のカタカナ表記法」「記号やカッコ類の使用法」「修飾語と被修飾語の関係」「音楽ジャンル用語など」	21	自分の気になる人、紹介するための文章を書くことが自己ブランディングの基礎になるという前提での講義	
	4	「同音異義語」「同義語反復」「同音漢字の使い分け」「叙切型への注意」「体言止めと倒置法」	22	「講師の書いた他已紹介原稿を基に講義。実践に入る」※自宅課題あり	
	5	「修飾語、接続詞の省略法」「句読点の打ち方のコツ」「尊敬語、謙譲語、ていねい語」	23	「学生の書いた原稿を基に修正と反省」	
	6	「慣用表現の使い方」「謎かけを用いて、たとえ表現を学ぶ」※自宅課題あり	24	マニュアルどおりに自分の弱みや強みを文章化することから始め、さまざまな文体で文章化せることを目指す」※自宅課題あり	
	7	「テンポ良く書くコツ」「ら抜き言葉など無意識的に使用している表現の確認」	25	自分自身のみならず、他者や商品自体をブランディングした文章を書く。セールスプロモーション資料の作成に関しても講義	
	8	「参考例(講師が過去に書いた原稿)を基に解説」	26	自己ブランディングを参照し、より具体的に文章化。それを基にプレゼンテーションをするための講義」※自宅課題あり	
	9	「短い講義の後ノートを参照しながら授業時間内に執筆」 ※作文のテーマは当日発表	27	「課題を基に講師を第三者に見立ててプレゼンテーションを行う」	
	10	前回執筆した作文の返却と解説	28	「一般的に難解とされるコンセプトをもった音楽(予定)を聞いて作者が何を考え、何を表現し伝えようとしているのかを想像し文章化	
	11	「5W1H 起承転結 小論文の解説」「5W1Hを用いた文章の執筆」「起承転結を用いた文章の執筆」	29	前回、執筆した原稿を使つての講義。難解な言葉を使った文章の有利と不利をひもとく」「比喩、暗喩、直喩を使い分け	
	12	「小論文を集中的に学ぶ」 ※自宅課題あり	30	自己や他者ではなく、企画プレゼンを考察する。企画書の書き方ではなく「企画書のなか」に書かれている文章のレベルアップ	
	13	「何らかのプレゼンテーションを行う際、資料に必要なタイトル、見出し、リードなどのコピー(ネーム)類の書き方を学ぶ」	31	企画書内の文を軸に社会人として日常的に書くであろう文章のための考察を行う」	
	14	「学生各位が「好きなもの」を文章と口頭説明で伝えるための資料(A4紙1、2枚)を自宅で作成。その事前説明」「講師が作成してきた	32	五年後の自分がどんな仕事をしているかを想像し、文章化していく	
	15	「学生による口頭説明と質疑応答」※文章と同時に言葉で伝える・言葉で応じるスキルを上げる。	33	「課題提出した文章を使った講義。よ文章りレベルを上げた手法の紹介」	
	16	「学生による口頭説明と質疑応答」(続編)	34	「社会人として所属した先でのプレゼン会議を想定しシミュレーションを行う。	
	17	「総括と講師によるアドバイス」	35	「前回のダメ出し、反省を踏まえて、より進化したディスカッションを行うための講義」	
18	「ネットニュースなどから気になる情報を選び、各自が分析し、なぜこのような事象が起きたのかを考察したことを執筆する」※夏休み課題	36	「より社会的かつ業務的な内容を入れ込みながら(例・具体的な予算案など)会議を進行させ、発言の説得力を高めていく」		
成績割合	テスト	50	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40			
	レポート	10	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	ベクターワークス建築講義		担当者名	上條 淳子	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	VWを使用して図面作成をできるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自ら考え、プランニングしたステージ図面を作成し、プレゼンテーションする。				
授業概要	VWの基本操作と応用実習				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション1	19	舞台図面作成② ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	2	VectorWorksについての概論1	20	舞台図面作成2 ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	3	VectorWorksについての概論2	21	舞台図面作成③□ ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	4	VectorWorksについての概論3	22	舞台図面作成3□ ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	5	積み込み図面作成① ■新規ファイルを作る・保存□レイヤーとクラス■基本作図 コマンド操作	23	舞台図面作成④□ ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	6	積み込み図面作成2 ■新規ファイルを作る・保存□レイヤーとクラス■基本作図 コマンド操作	24	舞台図面作成4□ ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	7	積み込み図面作成② ■基本作図コマンド操作	25	舞台図面作成⑤ ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	8	積み込み図面作成3 ■基本作図コマンド操作	26	舞台図面作成5 ■舞台図の作成	・作図コマンド操作
	9	積み込み図面作成③ ■基本作図コマンド操作	27	応用作図演習① ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	10	積み込み図面作成4 ■基本作図コマンド操作	28	応用作図演習2 ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	11	シンボル作成① ■機材の実測	29	応用作図演習3 ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	12	シンボル作成2 ■機材の実測	30	応用作図演習4 ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	13	シンボル作成②□ ■機材の実測	31	応用作図演習5 ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	14	シンボル作成3□ ■機材の実測	32	応用作図演習6 ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	15	シンボル作成③ ■機材の実測	33	応用作図演習7 ・シートレイヤー■印刷、エクスポート	
	16	シンボル作成4 ■機材の実測	34	応用作図演習 プレゼンテーション	
	17	舞台図面作成①□ ■舞台図の作成・イメージファイルPDFデータなどの取り込み、 取り出し■中間データの扱い	35	振り返り	
18	舞台図面作成2□ ■舞台図の作成・イメージファイルPDFデータなどの取り込み、 取り出し■中間データの扱い	36	総評		
成績割合	テスト	40	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30			
	レポート	50	成績評価	SABCD評価、学校規定に則る	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	関谷 昂	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	イベント全般に関心を高め視野を広げる。 協働力を高める為のグループディスカッションを行い、解決すべき課題を見つけ出し、イベントのプロジェクトを企画・実施する。イベントを通して社会との接点を見つける活動を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)					
授業概要	SDGsの視点を通して社会との接点を探る活動を行う。具体的なイベント企画を立て実施する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション 活動の方向性について	19	地域社会における関係者とのブレインストーミング等検討	
	2	チーム分けとイベントの調査レポート発表	20	" (学外へ出での直接交渉含む)	
	3	イベントの意義と解決すべき課題について	21	イベントの参加者～観客について(顧客の創造)	
	4	イベント企画の目的と目標について ゴール設定	22	イベントの集客について～広報手段の強化推進	
	5	" SDGsの問題と絡めて検証	23	イベント準備作業	
	6	プロジェクト立案	24	イベント準備作業	
	7	プロジェクト立案	25	イベント準備作業	
	8	チーム内での役割分担～スケジュール予算等確認	26	イベント実施(実施のタイミングは状況に合わせて)	
	9	地域社会との繋がりについて アプローチ検討	27	イベントの振り返り グループ毎の報告・情報共有	
	10	イベントの広報PR活動について 手段の検討	28	" 問題解決についての達成率の検証	
	11	" 情報発信の手段について検討	29	持続的な開発目標としてのイベントの検証作業	
	12	チーム間におけるショートプレゼン 相互確認	30	イベントの記録の編集作業	
	13	企画書作成作業	31	イベントの記録の編集作業	
	14	企画書作成作業	32	持続的な開発目標としてのプロモーション作業	
	15	プレゼン資料作成	33	持続的な開発目標としてのプロモーション作業	
	16	プレゼン資料作成	34	イベント記録のレポートとアーカイブ化(テクノス展向け)	
	17	プレゼンテーション(テストとして実施)	35	イベント記録のレポートとアーカイブ化(テクノス展向け)	
18	前半期の総括	36	後半期の総括		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	SABCDの学校判定基準にのつとる	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	地元のNPO団体・自治体の祭事・コミュニティサークル等の活動に参加してきました。様々なイベント行事・活動における社会との繋がりを話題にしてゼミの課題にかぶせてディスカッションをファシリテートします。				

シラバス

科目名	課題研究B		担当者名	山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	144時間
授業目的	後輩指導を通して、社会に出た時に必要となる「人を育てる力」を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	”人に教える・伝えることで自分の持ち合わせている基礎知識をさらに深める 様々なタイプの後輩に対して、それぞれに合ったコミュニケーションの取り方を学ぶ”				
授業概要	1年生のPA実習・照明実習の指導補助として、実習に参加する				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	実習上の注意、前期・後期発表日取り	19	PA実践③_B(3WaySystem)/卓の説明・操作/フロント/シーリング について・仕込み	
	2	PA基礎①_A(BoseSystem)/灯体の吊り方、回路、色、 SUS・ボタンについて	20	PA実践③_C(3WaySystem)/イントレ仕込み	
	3	PA基礎①_B(BoseSystem)/灯体の種類(PARライト) 仕込み	21	PA実践④_A(MonitorMix)/星球/ストロボについて 仕込み	
	4	PA基礎②_A(BoseSystem実践)/灯体の種類(凸・フレ ネル) 仕込み	22	PA実践④_B(MonitorMix)/PINについて 仕込み	
	5	PA基礎②_B(BoseSystem実践)/灯体の種類(ITO) 仕込み	23	PA実践④_C(MonitorMix)/Footについて 仕込み	
	6	PA実践①_A(2WaySystem)/灯体の種類(ソース フォー) 仕込み	24		
	7	PA実践①_B(2WaySystem)/灯体の種類(ミニブル) 仕込み	25	PA実践⑤_B(Band Mix)/フル仕込み 明かり作り(アップテンポ)	
	8	PA実践①_C(2WaySystem)/灯体の種類(LH・UHL) 仕込み	26	PA実践⑤_C(Band Mix)/フル仕込み 明かり作り(芝居)	
	9	PA実践②_A(Band Mix)/灯体の種類(LH・UHL) 仕 込み	27	後期発表_RH_1	
	10	PA実践②_B(Band Mix)/灯体の種類(LH・UHL) 仕 込み	28	後期発表_RH_2	
	11	PA実践②_C(Band Mix)/灯体の種類(LH・UHL) 仕 込み	29	後期発表_GP	
	12	前期発表_RH_1	30	後期発表	
	13	前期発表_RH_2	31		
	14	前期発表_GP	32		
	15	前期発表	33		
	16	前期の反省、後期発表に向けて	34		
	17	基礎舞台について/スモーク/SSについて 仕込み	35		
	18	PA実践③_A(3WaySystem)/卓の説明・操作/フロント /シーリングについて・仕込み	36		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調 性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロ フィール	音響技師、として、数多くのライブ/コンサートを経験、幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している。				

シラバス

科目名	課題研究A		担当者名	本多 功一、中嶋 信一	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	後輩指導を通して、社会に出た時に必要となる「人を育てる力」を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	”人に教える・伝えることで自分の持ち合わせている基礎知識をさらに深める 様々なタイプの後輩に対して、それぞれに合ったコミュニケーションの取り方を学ぶ”				
授業概要	1年生のPA実習・照明実習の指導補助として、実習に参加する				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	実習上の注意、前期・後期発表日取り	19	PA実践③_B(3WaySystem)/卓の説明・操作/フロント/シーリング について・仕込み	
	2	PA基礎①_A(BoseSystem)/灯体の吊り方、回路、色、 SUS・ボタンについて	20	PA実践③_C(3WaySystem)/イントレ仕込み	
	3	PA基礎①_B(BoseSystem)/灯体の種類(PARライト) 仕込み	21	PA実践④_A(MonitorMix)/星球/ストロボについて 仕込み	
	4	PA基礎②_A(BoseSystem実践)/灯体の種類(凸・フレ ネル) 仕込み	22	PA実践④_B(MonitorMix)/PINについて 仕込み	
	5	PA基礎②_B(BoseSystem実践)/灯体の種類(ITO) 仕込み	23	PA実践④_C(MonitorMix)/Footについて 仕込み	
	6	PA実践①_A(2WaySystem)/灯体の種類(ソース フォー) 仕込み	24		
	7	PA実践①_B(2WaySystem)/灯体の種類(ミニブル) 仕込み	25	PA実践⑤_B(Band Mix)/フル仕込み 明かり作り(アップテンポ)	
	8	PA実践①_C(2WaySystem)/灯体の種類(LH・UHL) 仕込み	26	PA実践⑤_C(Band Mix)/フル仕込み 明かり作り(芝居)	
	9	PA実践②_A(Band Mix)/灯体の種類(LH・UHL) 仕 込み	27	後期発表_RH_1	
	10	PA実践②_B(Band Mix)/灯体の種類(LH・UHL) 仕 込み	28	後期発表_RH_2	
	11	PA実践②_C(Band Mix)/灯体の種類(LH・UHL) 仕 込み	29	後期発表_GP	
	12	前期発表_RH_1	30	後期発表	
	13	前期発表_RH_2	31		
	14	前期発表_GP	32		
	15	前期発表	33		
	16	前期の反省、後期発表に向けて	34		
	17	基礎舞台について/スモーク/SSについて 仕込み	35		
	18	PA実践③_A(3WaySystem)/卓の説明・操作/フロント /シーリングについて・仕込み	36		
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調 性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロ フィール	音響技師、として、数多くのライブ/コンサートを経験、幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している。				

シラバス

科目名	ビジネス文書		担当者名	相川 奏恵	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる 				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる		
成 績 割 合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				

シラバス

科目名	コミュニケーション英会話Ⅱ		担当者名	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 36時間
授業目的	簡単な英語を用いてコミュニケーションをとり、海外に対しての興味・関心を持たせる			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ネイティブの教員との会話を通じて、英会話スキル・コミュニケーション能力の向上を目指す			
授業概要	クラス全員と教員でグループディスカッション形式で授業を行う。簡単な挨拶から日常会話英語まで、幅広く語学を学ぶ			
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容
	1	会話・ディスカッション(挨拶応用編)①	19	会話・ディスカッション(病院・マナー応用編)①
	2	会話・ディスカッション(挨拶応用編)②	20	会話・ディスカッション(病院・マナー応用編)②
	3	会話・ディスカッション(挨拶応用編)③	21	会話・ディスカッション(病院・マナー応用編)③
	4	会話・ディスカッション(挨拶応用編)④	22	会話・ディスカッション(病院・マナー応用編)④
	5	会話・ディスカッション(挨拶応用編)⑤	23	会話・ディスカッション(病院・マナー応用編)⑤
	6	小テスト①	24	小テスト④
	7	会話・ディスカッション(食事・買い物応用編)①	25	会話・ディスカッション(ビジネス応用編)①
	8	会話・ディスカッション(食事・買い物応用編)②	26	会話・ディスカッション(ビジネス応用編)②
	9	会話・ディスカッション(食事・買い物応用編)③	27	会話・ディスカッション(ビジネス応用編)③
	10	会話・ディスカッション(食事・買い物応用編)④	28	会話・ディスカッション(ビジネス応用編)④
	11	会話・ディスカッション(食事・買い物応用編)⑤	29	会話・ディスカッション(ビジネス応用編)⑤
	12	小テスト②	30	小テスト⑤
	13	会話・ディスカッション(旅行・交通応用編)①	31	
	14	会話・ディスカッション(旅行・交通応用編)②	32	
	15	会話・ディスカッション(旅行・交通応用編)③	33	
	16	会話・ディスカッション(旅行・交通応用編)④	34	
	17	会話・ディスカッション(旅行・交通応用編)⑤	35	
18	小テスト③	36		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>50%			
講師プロフィール	ネイティブの英語教員として長年の指導経験を持つ			

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	山本 あいり、土方 恵美	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会のルールや社会人としての心構え、マナーを学び実践力を身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としての知識・マナーを習得し、就職活動ならびにその先の人生に役立てる授業が目標				
授業概要	社会人としてのルールや学校生活を送るなかでのルールを座学方式で学ぶ				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オンライン・オンデマンド授業について	19	テクノス祭準備/情報共有	
	2	メールの送り・書き方	20	テクノス祭準備/情報共有	
	3	PDCAについて	21	SPIテスト②	
	4	一般常識テスト①	22	情報共有/個人面談	
	5	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究/情報共有	23	情報共有/個人面談	
	6	就職用提出書類について/企業調査・業界研究/情報共有	24	履歴書の書き方①	
	7	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有	25	履歴書の書き方②	
	8	SPIテスト①	26	一般常識テスト④	
	9	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有	27	情報共有/グループワーク	
	10	就職試験(面接)でのポイント・ルール①/企業調査・業界研究/情報共有	28	情報共有/グループワーク	
	11	就職試験(面接)でのポイント・ルール②/企業調査・業界研究/情報共有	29	テクノス展準備/情報共有	
	12	一般常識テスト②	30	総評	
	13	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談	31		
	14	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談	32		
	15	総合テスト	33		
	16	情報共有/グループワーク	34		
	17	情報共有/グループワーク	35		
18	一般常識テスト③	36			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート		成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	音響技師、照明技師として、数多くのライブ/コンサートを経験、幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している。				

シラバス

科目名	照明技術Ⅱ		担当者名	斉藤 葵、親富祖 政士郎、宮澤 正士	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	業界で必要な照明に関する知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業界で必要となる照明に関する知識に加え、 業界のスタッフの一員として照明および裏方(スタッフ)の心構え、良識ある人間性の確立を目指す。				
授業概要	「学び」「考え」「行動」を最大のテーマとして捉え、社会性豊かな学生を育成する。 スタッフとしてのチームプレー、チームワークの必要性を理解し作品制作の実務を修得する。 「舞台TV照明」基礎編を中心とした講義形式を基本とする。 経験と実績に基づいて作成した資料を配布し、説明。約4時間を使い、スタジオにて機材を使い照明実習。				
授業 計画 表		授業内容		授業内容	
	1	照明とは？光について、色との違い	19	舞台美術、演出、照明についての用語解説	
	2	上演芸術の歴史について	20	安全対策について	
	3	劇場機構と照明設備について①	21	事故防止につながる基礎	
	4	劇場機構と照明設備について②	22	TVスタッフの役割について① P、D、ADの仕事と役割	
	5	テレビスタジオの機構と設備について①	23	TVスタッフの役割について② CA、L、AD、TK等の仕事と役割	
	6	テレビスタジオの機構と設備について②	24	CMグラフィティについて	
	7	テレビスタジオの機構と設備について③	25	TVの仕事、スタジオ・ロケーションにおける ドラマの照明	
	8	テレビ照明の特徴と技法、色温度	26	音楽番組の照明、中継、報道、CMの照明	
	9	テレビ用語について	27	スタジオにて照明実習① レバトンを使って三点照明をモニターを通して見る	
	10	3点照明について	28	スタジオにて照明実習② スタンドに灯体を乗せ、光の三原色・エフェクトライトを見る	
	11	スタジオに於ける照明の仕事	29	ドラマにおけるアイト(強調する明かり)の説明	
	12	ロケーションに於ける照明の仕事	30	色彩について 加法混色・減法混色について	
	13	照明機器、電球、フィルターについて	31		
	14	電気工学について① オームの法則、電力計算	32		
	15	電気工学について② 絶縁体について	33		
	16	光について① 照明工学、ルクス・カンデラ等	34		
	17	光について② 太陽光のスペクトル	35		
	18	TV用語の解説(配布資料あり)	36		
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>90% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	柳戸 勲…現役の、舞台(バレエ、オペラ、語り、シャンソン等)を中心としている照明家。体験を基に広くスタッフ養成への授業を展開する。				

シラバス

科目名	音響技術Ⅱ		担当者名	榎田 博、岩下 保広、米倉 良春	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	1年時に習得した基礎を元に、実習と照らし合わせて応用力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	卒業制作実習や学内外のイベントと連動したハード・ソフトウェアの知識や応用を習得する。				
授業概要	㉑ マイクロフォンからスピーカーまでの各機器の構造を理解する。□ ㉒ スピーカーから放出される音の理論上の音圧を理解し、計算により導きだせる。□ ㉓ ㉑と㉒の組み合わせにより、必要とする理論上のシステム構築が出来る。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	OutSystem 1 [実践編] (Alpha取扱/位相)	19	前期試験解答と解説	
	2	OutSystem 2 [理論編] (点音源・線音源)	20	システム構築 1 (レベル・インピーダンス・減衰)	
	3	デジタルミキサー 1 [実践編] (実機取扱)	21	システム構築 2 (距離減衰・音圧合成)	
	4	デジタルミキサー 2 [アプリ編] (StageMix)	22	TECHNOS祭対応	
	5	資料作成 ① [Excel] (組織図/作業SC/回線表/卓プラン)	23	録音/再生技術 (DAW/SF・bitとデータ容量)	
	6	マイキング理論/ミキサー出力 (発音体/種類・距離・角度/ミキサー出力の用途別種類)	24	放送と配信音声 (同期信号/FLSF)	
	7	ルームアコースティック/チューニング (理論/定在波/チューニング部材(LAKE・Smaart))	25	学生発表 1	
	8	資料作成 2 (出庫表/積込図/発注書/賃借表)	26	学生発表 2	
	9	音声分岐/野外現場/舞台転換 (スプリッター/風雨熱対策/転換表)	27	学生発表 3	
	10	OutSystem 3 (サブウーファ/アウトプラン/SP図面)	28	リクエスト講義 [予備日、イベント対応] (機材の歴史変貌とトレンド機材)	
	11	ワイヤレスシステム 1 [実践編] (ワイヤレスマイクとIEM)	29	リギング基礎 (リギングパーツ/安全管理)	
	12	音響電源とノイズ (VA/アース/電位差/コモン/ノーマル/振分表)	30	卒業制作対応 1	
	13	ワイヤレスシステム 2 [理論/アプリ編] (高調波/chプラン/ワークベンチ)	31	卒業制作対応 2	
	14	デジタル伝送 (ネットワーク/プロトコル/リダンダント)	32	後期まとめ	
	15	OB・OGディスカッション	33	後期末試験	
	16	OutSystem 4 (パワーアンプ/DSP/ケーブル)	34	後期試験解答と解説	
	17	前期まとめ	35	リクエスト講義 [予備日、イベント対応] (資格と検定・法規)	
18	前期末試験	36	リクエスト講義 [予備日、イベント対応] (ケーブルの知識)		
成績割合	テスト	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	音響技術者として30年以上のキャリアを持ち、現在も音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍する。近年ではコロナ禍の対応として、音楽配信やヴァーチャル配信の音声も担当。				